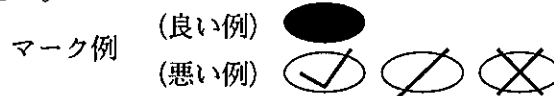


令和5年度（令和4年度実施）  
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
 筆記審査（専門教養）  
 中学校 特別支援学校 中学部・高等部  
 社会

|      |  |     |  |
|------|--|-----|--|
| 受審番号 |  | 氏 名 |  |
|------|--|-----|--|

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

| 受 審 番 号 |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|
| 万       | 千 | 百 | 十 | 一 |
| 1       | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ○       | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ●       | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○       | ● | ○ | ○ | ○ |
| ○       | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○       | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○       | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○       | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○       | ○ | ○ | ○ | ○ |

記入例

(受審番号12345の場合)

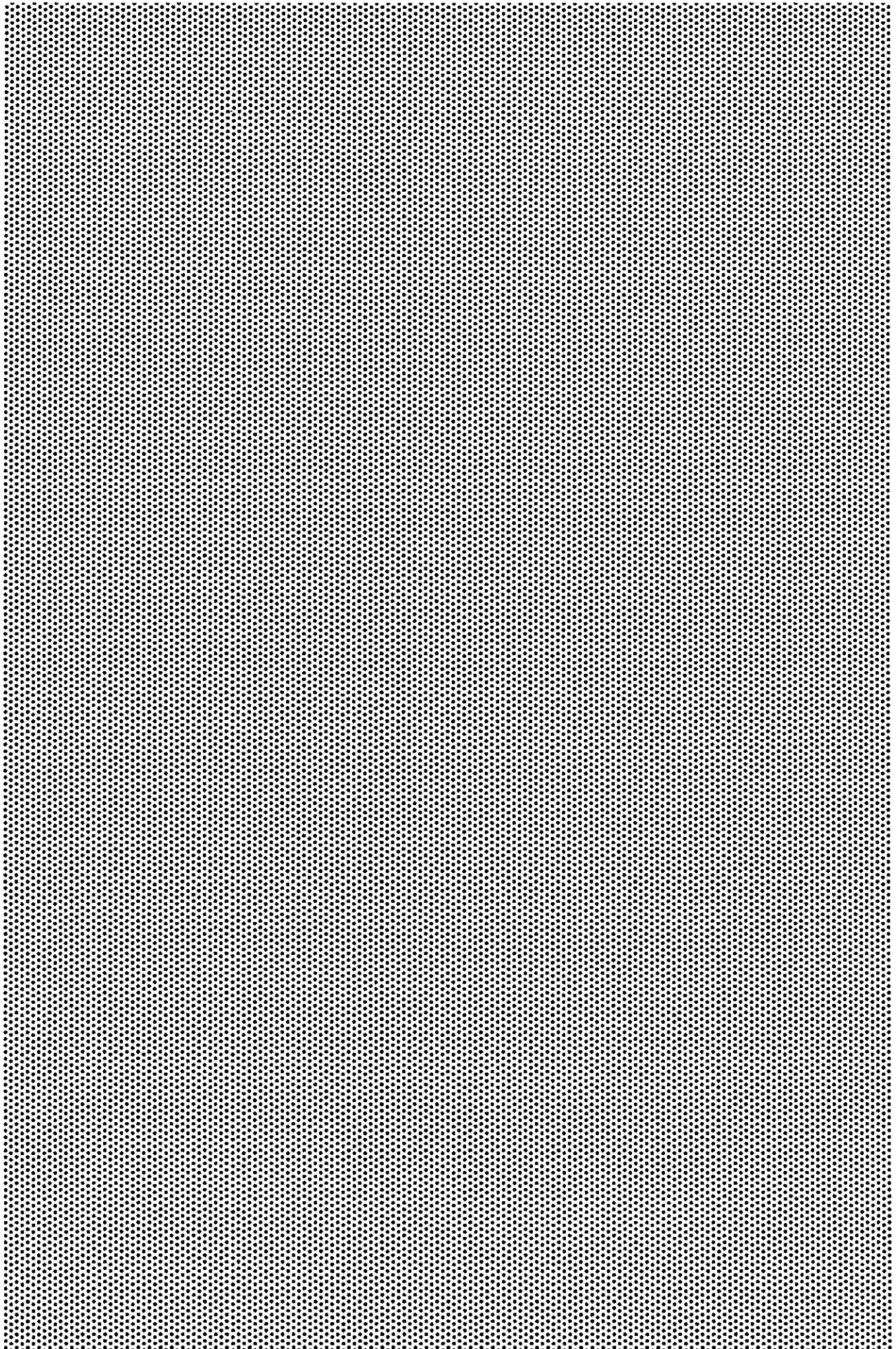
- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審科目以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。
- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の(例)のようにアの解答欄の b をマークしてください。

(例)

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | a | ● | c | ○ | d | ○ | e | ○ | 0 | ○ | 1 | ○ | 2 | ○ | 3 | ○ | 4 | ○ | 5 | ○ | 6 | ○ | 7 | ○ | 8 | ○ | 9 | . | - | ± |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

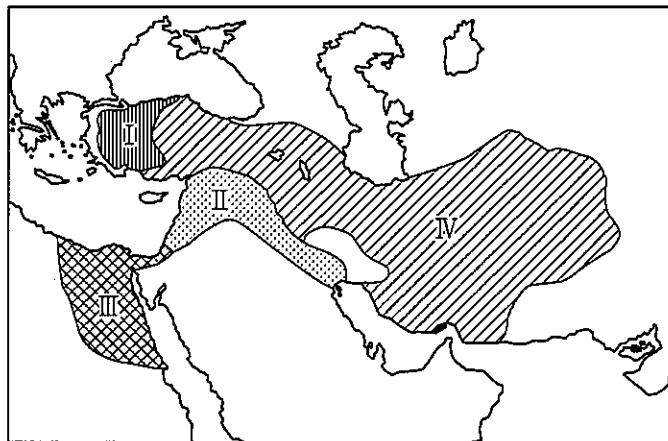


## 【共通問題】

第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 次の図中のⅠ～Ⅳは、アッシリア滅亡後の4王国の領域を示したものである。これらの王国について述べた文X・YとⅠ～Ⅳの組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。



X 世界ではじめての金属貨幣がつくられた。

Y バビロン捕囚を行った。

- a 文-X 場所-Ⅲ
- b 文-X 場所-Ⅳ
- c 文-Y 場所-I
- d 文-Y 場所-II

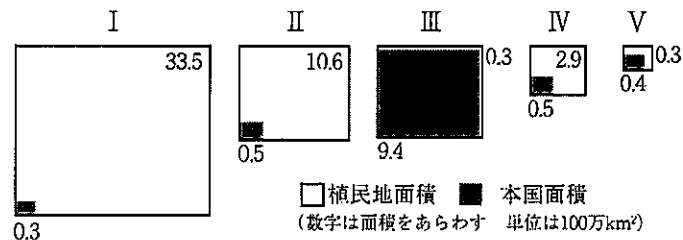
(2) インド・東南アジアの王朝について述べた文として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a グプタ朝は、チャンドラグプタ2世のときに最盛期を迎え、北インド全域を支配した。
- b ガズナ朝は、ゴール朝のインド遠征に同行したアイバクがデリーに開いた王朝である。
- c 陳朝は、東南アジアに進出した元によって滅ぼされた。
- d ラタナコーシン朝は、チュラロンコン(ラーマ5世)の時代に、スペインの植民地となった。

(3) 欧米の市民革命について述べた文として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a クロムウェルは、チャールズ1世を処刑して、共和政をうちたてた。
- b ジェームズ2世は、議会在がまとめた権利の宣言を受け入れ王位についた。
- c トマス＝ジェファソンらは、ロックの思想などを参考に独立宣言を起草した。
- d シェイエスは、「第三身分とは何か」という小冊子で第三身分の権利を主張した。

(4) 次の図Ⅰ～Ⅴは、1914年における列強の海外植民地領有面積を比較したものであり、Ⅰ～Ⅴは日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツのいずれかである。アメリカとドイツの組み合わせとして正しいものを、下の a～e から一つ選びなさい。



- a Ⅰ－アメリカ      Ⅱ－ドイツ
- b Ⅱ－ドイツ      Ⅲ－アメリカ
- c Ⅲ－アメリカ      Ⅳ－ドイツ
- d Ⅳ－ドイツ      Ⅴ－アメリカ
- e Ⅰ－アメリカ      Ⅴ－ドイツ

(5) 中東地域の歴史について述べた文として正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a イギリスはバルフォア宣言により、アラブ人にオスマン帝国からの独立を約束した。
- b エジプトの大統領となったサダトは、スエズ運河の国有化を宣言した。
- c イスラエルは、第3次中東戦争で占領地をシナイ半島まで拡大させた。
- d パレスチナ解放機構は、アメリカ大統領オバマを仲介としてイスラエルと暫定自治政権の樹立で合意した。

(6) 科学・技術の歴史について述べた文として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a エウクレイデスは、平面幾何学を大成した。
- b イブン=バットゥータは、「医学典範」を著した。
- c 徐光啓は、「本草綱目」を著した。
- d ジェンナーは、ペニシリンを発見した。

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の史料を読み、続く①～③の問いに答えなさい。

(『隋書』倭国伝)

① 史料について、正夫さんと健一さんは次のような会話をした。会話中の空欄 [ A ]～[ C ] に当てはまる言葉の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

正夫：この史料は、厩戸王（聖徳太子）の時代に、倭国から隋に使節が派遣されたことを記した内容だね。  
 健一：そうだね。この中で、文書を受け取った隋の煬帝は、[ A ] と表記されているね。  
 正夫：史料では、煬帝がこの文書をどのようにとらえていたかわかるから、おもしろいね。  
 健一：「これをみてよろこばなかった」とか、役人に「野蛮人の国書で無礼なものがあつた場合は今後二度と報告するな」とか書いているから、相当、怒つたみたいだね。なぜかなあ？  
 正夫：[ B ]  
 健一：国書に不満だった煬帝は、その後、倭国に対して、どのように対応したのかな？  
 正夫：それが、翌年、裴世清を使者として送ってるんだ。隋は、[ C ] への遠征を繰り返していたから、[ C ] の背後に位置する倭国との外交を軽視することはできなかったんだよね。  
 健一：なるほど。今日は勉強になったよ。ありがとう。

- a A - 日出づる処の天子  
 B - 倭の五王時代とは違って、中国皇帝に臣従しない形式だったからだよ。  
 C - 新羅
- b A - 海西の菩薩天子  
 B - 倭の五王時代とは違って、中国皇帝に臣従しない形式だったからだよ。  
 C - 高句麗
- c A - 海西の菩薩天子  
 B - 倭の五王時代と同様に中国皇帝に臣従する形式だったからだよ。  
 C - 高句麗
- d A - 日出づる処の天子  
 B - 倭の五王時代と同様に中国皇帝に臣従する形式だったからだよ。  
 C - 新羅

- ② 隋や唐と往来した人々に関して述べた文として正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 遣隋使に従って中国にわたった高向玄理・南淵請安・旻らの留学生・学問僧は、帰国後、新たな制度・文化などを伝えて、国政の改革に大きな役割をはたすことになった。
- b 遣唐使たちは、唐から先進的な政治制度や国際的な文化をもたらし、帰国した小野妹子は、光明皇太后と結んで政界で活躍した。
- c たびたびの失敗にも関わらず、日本への渡航を果たした。唐の玄奘は、正式な僧侶として認められる受戒の際の正式な戒律のあり方を伝えるとともに、唐招提寺を建立するなど、日本の仏教発展に尽くした。
- d 円仁と円珍は、それぞれ遣唐使とともに中国にわたり、天台宗に本格的に密教を取り入れた。その後、両者の系統は、延暦寺を拠点とした寺門派と園城寺を拠点とした山門派を形成して対立した。

- ③ 律令国家の確立に向けた動きについて述べた次の文 I～IV について、年代の古いものから順に並べたものとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

- I 飛鳥から本格的な宮都である藤原京に遷都された。
- II 最初の全国的な戸籍である庚午年籍が作成された。
- III 豪族たちを天皇を中心とした新しい身分に編成するため八色の姓が定められた。
- IV 刑部親王や藤原不比等らによって大宝律令が完成した。

- a II → III → I → IV
- b IV → II → III → I
- c II → III → IV → I
- d IV → II → I → III

- (2) 次の文章は、室町時代の代表的な都市について述べた説明文である。文中の空欄 [ I ] と [ II ] に当てはまる語句の説明は下の1～4のうちどれか。その組み合わせとして正しいものを、a～dから一つ選びなさい。

室町時代になると、各地にはさまざまな背景や機能を持つ都市が発展した。また、それらの都市では産業の発展も背景に大名と結びついた豪商らも生まれた。この時代に発展した都市として代表的な山口は、[ I ] の城下町として多くの文化人を招き発展した。また、都市の中には富裕な商工業者が自治組織を作って運営する例も見られた。イタリアの「ベニス市の如く」と評された [ II ] などが有名である。

- 1 日明貿易を独占するなどしたが、家臣の陶氏に滅ぼされた戦国大名
- 2 宣教師のすすめでローマ教皇のもとへ使節を派遣した戦国大名
- 3 戦乱で衰退した祇園祭を町衆らが復活させた都市
- 4 織田信長によって屈服させられ、直轄化された都市

- a I - 1 II - 3      b I - 1 II - 4  
c I - 2 II - 3      d I - 2 II - 4

- (3) 次の文章を読み、続く①・②の問いに答えなさい。

16世紀末に生まれた、A桃山文化は、覇気にあふれた力強い文化であり、大名や豪商らを担い手とした。商人出身で、B秀吉に仕えた千利休もそうした一人である。

- ① 下線部Aの文化について述べた次の文X、Yの正誤の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

X 二条良基が連歌の規則書として「応安新式」を制定した。

Y 尾形光琳が「紅白梅図屏風」や「燕子花図屏風」などの作品を残した。

- a X - 正 Y - 正      b X - 正 Y - 誤  
c X - 誤 Y - 正      d X - 誤 Y - 誤

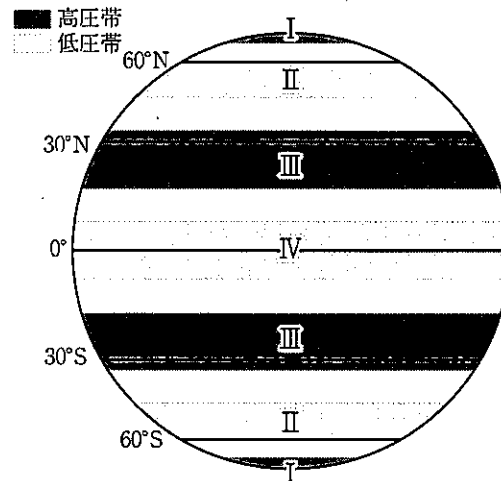
- ② 下線部Bに関連して、1584年に秀吉が徳川家康らと争ったが、最終的な決着はつかず講和を結んだ。この戦いの名称として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 賤ヶ岳の戦い              b 山崎の合戦  
c 小牧・長久手の戦い      d 慶長の役



3 次の(1)～(8)の問いに答えなさい。

(1) 次の図は、世界の気圧帯を示したものである。図中のⅠ～Ⅳの気圧帯に関する説明として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。



- a Ⅰの高圧帯では、極地方で気温が低いために、上昇気流が発生せず安定した高圧帯を形成している。
- b Ⅱの低圧帯では、寒冷な偏西風と温暖な極偏東風がぶつかり寒帯前線が形成され、大気が不安定になりやすいので、降水量が多くなる。
- c Ⅲの高圧帯では、赤道付近で上昇した大気が下降気流となって大量の湿度をもたらすため、降水量が多い。この気圧帯から貿易風と偏西風が吹き出す。
- d Ⅳの低圧帯では、南北から吹き込んでくる偏西風により、大量の降水がもたらされる。日射量が多く常に上昇気流が発生する赤道付近に形成される。

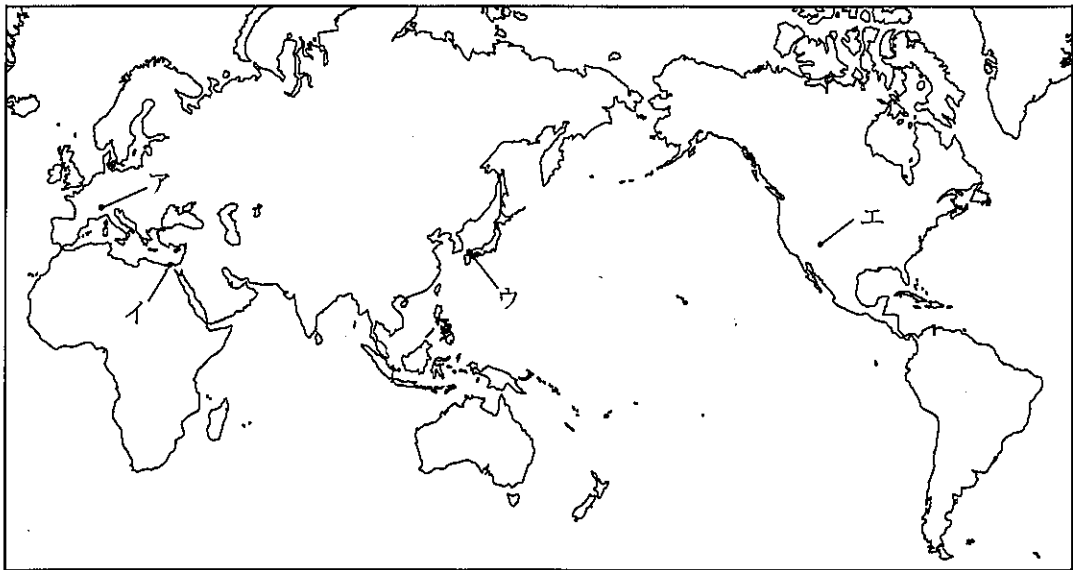
(2) 次の写真Ⅰ～Ⅳは、次ページの図中のア～エの地点における特徴的な景観を撮影したものである。ア～エとⅠ～Ⅳとの組み合わせとして正しいものを、次ページの a～d から一つ選びなさい。

Ⅰ 石灰岩が溶食されて  
できたカルスト地形

Ⅱ 河川より運搬された  
土砂が堆積してできた  
沖積平野

Ⅲ 硬軟互層の地層が侵食  
されて塔状に残った地形

Ⅳ 氷河によって削られ  
てできた岩峰



|   | I | II | III | IV |
|---|---|----|-----|----|
| a | イ | ウ  | ア   | エ  |
| b | ウ | イ  | エ   | ア  |
| c | イ | ウ  | エ   | ア  |
| d | ウ | イ  | ア   | エ  |

(3) 次の表は、主な国の二酸化炭素総排出量の推移とGDPあたりの二酸化炭素排出量、一人あたりの二酸化炭素排出量を示したものであり、表中のⅠ～Ⅳは日本、インド、ロシア、オーストラリアのいずれかである。Ⅰ～Ⅳに当てはまる国名の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

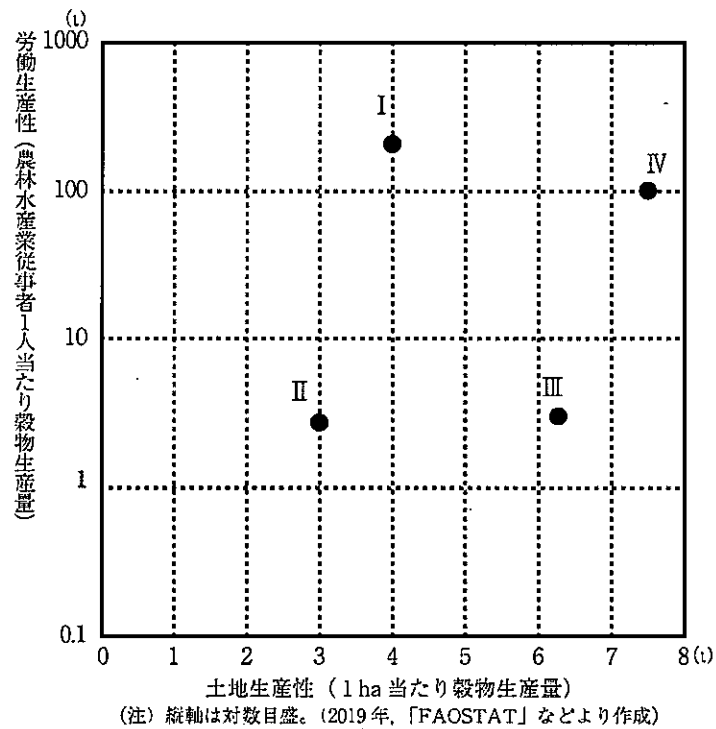
| 国名   | 二酸化炭素総排出量<br>(百万t-CO <sub>2</sub> ) |       | GDPあたり<br>二酸化炭素排出量<br>(kg-CO <sub>2</sub> ) | 一人あたり<br>二酸化炭素排出量<br>(t-CO <sub>2</sub> ) |
|------|-------------------------------------|-------|---|---|
|      | 1990年                               | 2018年 | 2018年                                       | 2018年                                     |
| 中国   | 2,089                               | 9,528 | 0.71  | 6.84                                      |
| アメリカ | 4,803                               | 4,921 | 0.25  | 15.03                                     |
| Ⅰ    | 2,164                               | 1,587 | 1.12  | 10.99                                     |
| Ⅱ    | 1,054                               | 1,081 | 0.24  | 8.55                                      |
| Ⅲ    | 530                                 | 2,308 | 0.89  | 1.71                                      |
| Ⅳ    | 260                                 | 383   | 0.29  | 15.32                                     |

(注) GDPあたりとは、2015年価格1米ドルGDP（国内総生産）あたりを意味する。

(『世界国勢図会2021/22年版』より作成)

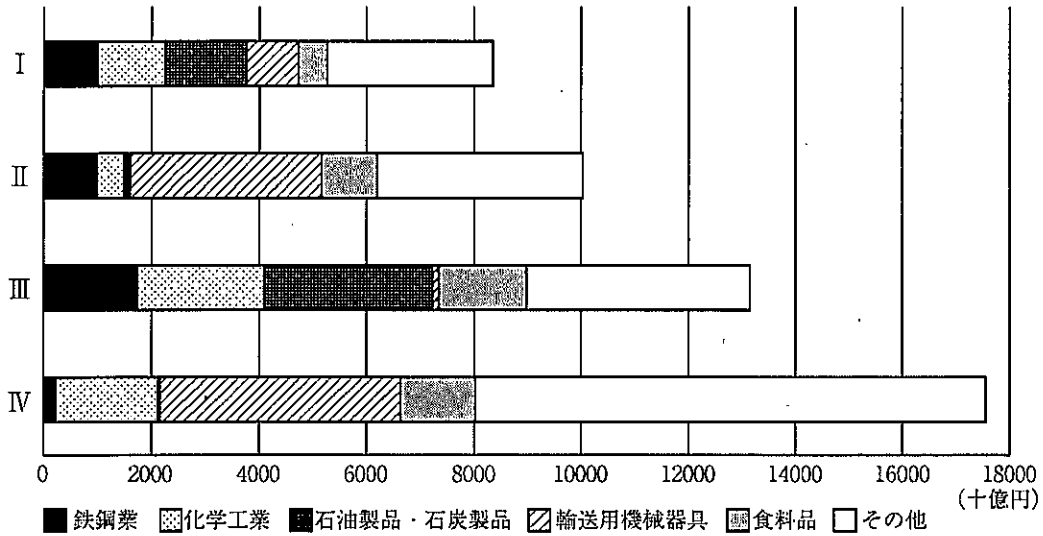
|   | Ⅰ       | Ⅱ   | Ⅲ       | Ⅳ       |
|---|---------|-----|---------|---------|
| a | ロシア     | 日本  | インド     | オーストラリア |
| b | インド     | 日本  | オーストラリア | ロシア     |
| c | オーストラリア | ロシア | インド     | 日本      |
| d | 日本      | インド | オーストラリア | ロシア     |

- (4) 次の図は、主な国の土地生産性と労働生産性の関係を示したものであり、図中のⅠ～Ⅳは、中国、タイ、フランス、カナダのいずれかである。Ⅰ～Ⅳに当てはまる国名の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 タ



|   | Ⅰ    | Ⅱ  | Ⅲ  | Ⅳ    |
|---|------|----|----|------|
| a | フランス | タイ | 中国 | カナダ  |
| b | カナダ  | 中国 | タイ | フランス |
| c | カナダ  | タイ | 中国 | フランス |
| d | フランス | 中国 | タイ | カナダ  |

(5) 次の図は、主な県の製造品出荷額を業種別に示したものであり、図中のⅠ～Ⅳは、福岡県、岡山県、静岡県、千葉県いずれかである。Ⅰ～Ⅳに当てはまる県名の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 チ

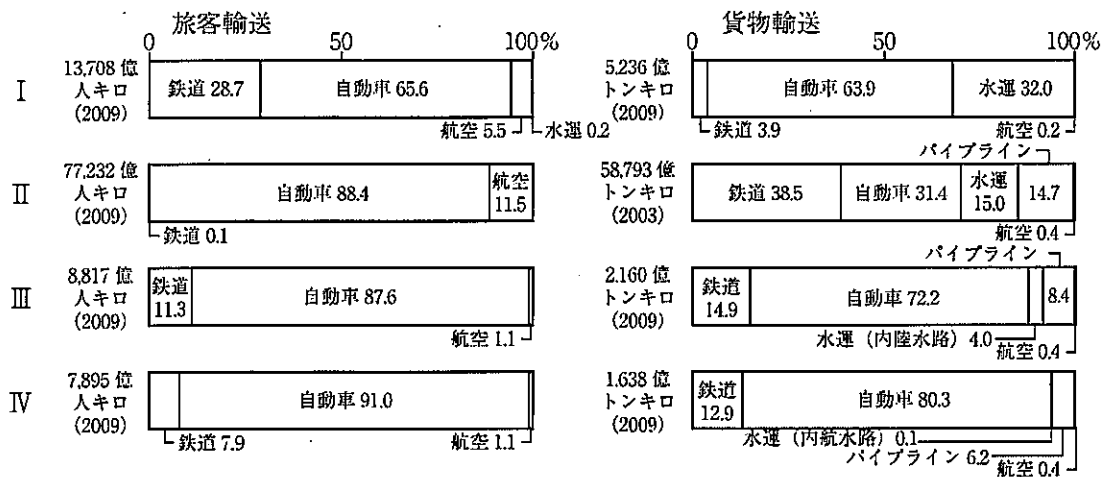


統計年次は2018年 (二宮書店「データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版」より作成)

|   | Ⅰ  | Ⅱ  | Ⅲ  | Ⅳ  |
|---|----|----|----|----|
| a | 岡山 | 福岡 | 千葉 | 静岡 |
| b | 福岡 | 岡山 | 静岡 | 千葉 |
| c | 福岡 | 岡山 | 千葉 | 静岡 |
| d | 岡山 | 福岡 | 静岡 | 千葉 |

(6) 次の図Ⅰ～Ⅳは、主な国の国内輸送量の割合を輸送機関別に示したものであり、それぞれ、日本、フランス、アメリカ、イギリスのいずれかである。Ⅰ～Ⅳに当てはまる国名の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

ツ



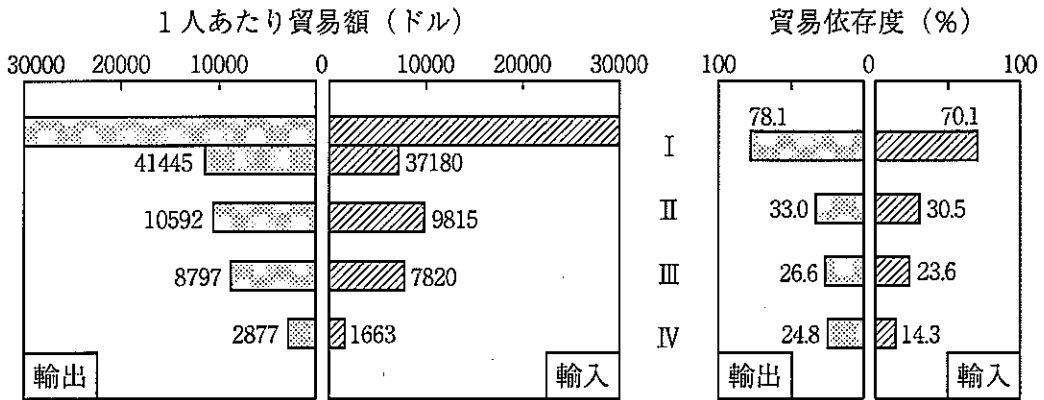
(注) 図中の数字の単位は%である。

(注) 統計の手法等の都合で、合計しても100%にならない場合がある。

(二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版』などより作成)

|   | Ⅰ    | Ⅱ    | Ⅲ    | Ⅳ    |
|---|------|------|------|------|
| a | アメリカ | 日本   | イギリス | フランス |
| b | フランス | イギリス | アメリカ | 日本   |
| c | イギリス | アメリカ | 日本   | フランス |
| d | 日本   | アメリカ | フランス | イギリス |

(7) 次の図は、主な国の1人あたり貿易額と貿易依存度を示したもので、図中のI～IVは、韓国、ロシア、イタリア、オランダのいずれかである。I～IVに当てはまる国名の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。



(注) 統計年次は2019年。

貿易依存度は、GDPに対する輸出入額の割合。

(『日本国勢図会 2021/22年版』より作成)

|   | I    | II   | III  | IV   |
|---|------|------|------|------|
| a | ロシア  | オランダ | イタリア | 韓国   |
| b | イタリア | ロシア  | 韓国   | オランダ |
| c | 韓国   | イタリア | オランダ | ロシア  |
| d | オランダ | 韓国   | イタリア | ロシア  |



- (8) 次の写真Ⅰ～Ⅳは、スペイン、ドイツ、タイ、ボリビアのいずれかで見られる住居の写真であり、下のア～エは、いずれかの国で行われている農牧業について述べた文である。ボリビアに該当する写真と文の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

- ア この国では、ジャガイモやとうもろこしを標高に応じて栽培する伝統的な農牧業が見られる。
- イ この国では、夏の果樹栽培と冬の小麦栽培、ヤギや羊などの家畜の飼育を組み合わせた農牧業がさかんである。
- ウ この国では、穀物と根菜類、飼料作物を輪作で栽培し、家畜の飼育と組み合わせた農牧業がさかんである。
- エ この国では、平野部での稲作のほか、山間部では木や草を焼き払ってできた草木灰を肥料としたイモ類や雑穀が栽培されている。

- |   |      |       |
|---|------|-------|
| a | 住居－Ⅰ | 農牧業－エ |
| b | 住居－Ⅲ | 農牧業－ウ |
| c | 住居－Ⅱ | 農牧業－ア |
| d | 住居－Ⅳ | 農牧業－イ |

第2問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1) 次の文はだれの活動内容を説明したものか。適切な人物を、下のa～eから一つ選びなさい。

当時15歳であった2018年8月に、たった一人でスウェーデンの国会議事堂前で気候変動対策を求める学校ストライキを始めた。この取組はソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)を通じて全世界に広まり、Fridays For Future(未来のための金曜日)と呼ばれる取組になっている。

2019年12月にスペインのマドリードで行われた気候変動枠組条約第25回締約国会議では、気候変動に対する若者の危機感を切実に訴えた。

- a マララ・ユスフザイ
- b グレタ・トゥーンベリ
- c マザー・テレサ
- d ハンナ・アーレント
- e ワンガリ・マータイ

(2) 持続可能な開発目標(SDGs)に関する次の説明A～Cについて、その正誤の組み合わせとして適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。

- A 2001年に策定されたMDGs(ミレニアム開発目標)の後継として、2015年の国連サミットで採択された2050年までに達成すべき国際目標である。
- B 日本政府は、持続可能な開発目標(SDGs)実施指針において、普遍性、包摂性、参画型、統合性、透明性と説明責任の「5つの主要原則」を定めている。
- C 貧困の撲滅、食料の安定確保、ジェンダーの平等、気候変動対策、生態系の保護など10の目標が定められている。

- a A一誤, B一正, C一正
- b A一正, B一誤, C一正
- c A一正, B一正, C一誤
- d A一誤, B一正, C一誤
- e A一正, B一誤, C一誤

(3) ブログ, ソーシャルネットワーキングサービス (SNS), 動画共有サイトなど, 利用者が情報を発信し, 形成していくメディアの総称を示す用語として適切なものを, 次の a~e から一つ選びなさい。

- a マス・メディア
- b パーソナル・メディア
- c ソーシャル・メディア
- d パブリック・アクセス
- e デジタル・デバイス

(4) クリッパー・キャスナイン (CRISPR-Cas9) についての記述として最も適切なものを, 次の a~e から一つ選びなさい。

- a 細菌の免疫の仕組みを利用して, 生物の遺伝情報を自在に書き換える「ゲノム編集」の手法のこと。
- b 人工多能性幹細胞の略称であり, 体細胞に遺伝子を導入して様々な細胞に分化できる能力をもたせたものこと。
- c 精子を人為的に子宮に注入して卵子と受精させる技術のこと。
- d 寄生虫感染症の特効薬の基となった, 土壌中の微生物から抽出された物質のこと。
- e ある個体と全く同じ遺伝子をもつ個体を人為的につくる技術のこと。

(5) 我が国における投票や選挙運動等に関する記述として誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 仕事や旅行などの理由があれば、投票日前に投票できる期日前投票制度が導入されている。
- b どの候補者に投票するかを誰かに相談すること自体は、特に禁止されていない。
- c ウェブサイトを利用する方法による選挙運動を行う場合、電子メールアドレスやその他その人に連絡するために必要となる情報を表示することが義務付けられている。
- d 選挙運動をすることができる期間は、選挙の公示日又は告示日に候補者が立候補の届出をした時から投票日までの間である。
- e 満18歳未満の者は、特定の候補者への投票を呼びかけるなどの選挙運動をすることができない。

(6) 我が国における「契約」に関する記述として最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 社会経験の少ない未成年者が法定代理人の同意を得ずに契約した場合、いかなる場合も契約を取り消すことができる。
- b 語学教室やエステ、塾については、契約した日から20日間はクーリング・オフができる。
- c 店で商品を買っても、使う前に不要になったときには必ず契約を解約できる。
- d 契約は、契約書に印鑑やサインが必ず必要であり、口約束では成立しない。
- e ネットショッピングについては、法律上のクーリング・オフ制度がない。

- (7) 次の想定のもと、下の表であらわされるゲームを考えた場合、このゲームの表から読み取れる内容として最も適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。

キ

(想定)

A国とB国の代表は、互いに相談できない状況で、「協調」か「非協調」のいずれか一方の戦略を1回のみ同時に選択する。その結果として、両国は表中の点数を得ることができる。ここでの両国は、自国の得る点数の最大化だけを目指すものとする。

|    |     | B国                 |                    |
|----|-----|--------------------|--------------------|
|    |     | 協調                 | 非協調                |
| A国 | 協調  | A国に200点<br>B国に200点 | A国に20点<br>B国に300点  |
|    | 非協調 | A国に300点<br>B国に20点  | A国に100点<br>B国に100点 |

- a A国とB国がともに「非協調」を選択する場合、両国ともに最小の得点となる。
- b B国が「非協調」を選択する場合、A国がより高い点数を獲得するには「協調」を選択する必要がある。
- c B国にとって最も高い点数を得るには、「協調」を選択する必要があるが、それにはA国が「非協調」を選択するという条件が必要である。
- d A国とB国がともに「協調」を選択すれば、両国の点数の合計は最大化されるが、相手の行動が読めない以上、「協調」を選択できない。
- e A国とB国がともに「協調」を選択する場合、両国ともに最大の点数が獲得できる。

2 次の(1)～(8)の問いに答えなさい。

(1) 次の日本国憲法第96条第1項の条文中の  ～  に入る語句の組み合わせとして適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。

この憲法の改正は、  の  の賛成で、  が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行はれる投票において、その  の賛成を必要とする。

- |   |       |              |      |          |
|---|-------|--------------|------|----------|
| a | ① 国会  | ② 過半数        | ③ 国会 | ④ 過半数    |
| b | ① 国会  | ② 総議員の三分の二以上 | ③ 内閣 | ④ 過半数    |
| c | ① 閣議  | ② 全会一致       | ③ 内閣 | ④ 三分の二以上 |
| d | ① 各議院 | ② 過半数        | ③ 国会 | ④ 三分の二以上 |
| e | ① 各議院 | ② 総議員の三分の二以上 | ③ 国会 | ④ 過半数    |

(2) 法のうち、国家や地方公共団体に関することや、これらと私人との公的な関係を規律するものを公法という。公法に分類されるものとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 商法
- b 民法
- c 刑法
- d 独占禁止法
- e 労働基準法

(3) アメリカやイギリスの政治機構に関する記述として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a イギリスは、成文の憲法典をもたず、裁判所に違憲法令審査権がない。
- b イギリスの上院（貴族院）の議員の任期は5年で、定員は650名である。
- c アメリカ連邦議会の下院の議員の任期は2年で、各州から人口比例で選出される。
- d アメリカ連邦議会の上院の議員の任期は6年で、定員は100名である。
- e アメリカの大統領は、議会が可決した法案への拒否権や、政治上の意見書である教書の送付が認められている。

(4) オランダの法学者グロティウスに関する記述として最も適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 国際社会にも人間の理性に基づく法が存在すると主張し、戦争と平和に関する国際法を説き、法によらず戦争に訴える国家を厳しく批判した。著書に『戦争と平和の法』がある。
- b 立憲政治の必要性を唱え、三権分立論を主張し、近代民主政治のあり方に大きな影響を与えた。著書に『法の精神』がある。
- c 世界の恒久平和を実現するためには、常備軍の全廃や、自由な国家の上に国際法が成立すべきであるとし、国際平和機構の構想を主張した。著書に『永遠平和のために』がある。
- d 主権という概念を初めて用いて上位に権威を持たない主権国家という概念を主張し、近代国家を理論的に基礎づけた。著書に『国家論』がある。
- e 国家権力による支配の正統性（正当性）を、合法的支配、伝統的支配、カリスマ的支配に分類して説明した。著書に『支配の社会学』がある。

(5) 2010年末のジャスミン革命がきっかけとなり、2011年初めから中東や北アフリカに広く伝わった民主化運動（「アラブの春」）により政権が交代した国として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a チュニジア
- b エジプト
- c イエメン
- d リビア
- e ヨルダン

(6) 企業に関する記述として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ス

- a ステークホルダーとは、会社が、自社の会社経営にかかわる情報などを、投資家や株主に対して公開することである。
- b コンプライアンスとは、企業が商法や民法、労働法などの法令を守って経済活動を行うことである。
- c フィランソロピーとは、企業が行う様々な社会的貢献活動や慈善的寄付行為のことである。
- d メセナとは、企業がコンサートなどの芸術活動や、スポーツ大会などの活動を支援する、社会的貢献活動のことである。
- e 社会的責任投資（SRI）とは、企業が社会的責任を積極的に果たしているかどうかを判断材料として行う投資方法のことである。

(7) 「自分が欲しい何かを手に入れるためには、別の何かをあきらめなくてはならない」ということを示す語句として最も適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

セ

- a インセンティブ
- b ユビキタス
- c トレードオフ
- d エンクロージャー
- e テクノクラート

(8) 1ドル=101円であるとき、日本のある自動車製造の企業が自社製品をアメリカで販売し、3億ドルの売り上げがあった。その半年後に1ドル=110円になったとき、この企業が同じ数量の同じ製品をアメリカで販売し、相変わらず3億ドルの売り上げがあった。この場合の、円に換算した売り上げに関する説明として最も適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ソ

- a 9億円増加する
- b 27億円増加する
- c 変わらない
- d 9億円減少する
- e 27億円減少する



3 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 青年期に関して説明した次の表において、表中の【A】～【C】に入る人物名の組み合わせとして適切なものを、下のa～eから一つ選びなさい。

| 人物名 | 主な思想   |
|-----|--|
| 【A】 | 青年期は、それぞれが男性として、女性としての人生を歩みはじめる出発点であるとして、「第二の誕生」と表現した。                           |
| 【B】 | 青年はもはや子どもではないものの、まだ一人前の大人ではなく、その境界に位置する不安定な存在であることから、これを境界人（マージナル・マン）という言葉で表現した。 |
| 【C】 | 青年期における具体的な発達課題として、「両親や他の大人からの情緒的独立」「職業の選択及び準備」など10項目をあげた。                       |

- a 【A】 レヴィン                      【B】 ルソー                      【C】 ハヴィガースト  
 b 【A】 レヴィン                      【B】 ハヴィガースト          【C】 エリクソン  
 c 【A】 ルソー                        【B】 レヴィン                    【C】 エリクソン  
 d 【A】 ルソー                        【B】 ハヴィガースト          【C】 エリクソン  
 e 【A】 ルソー                        【B】 レヴィン                    【C】 ハヴィガースト

(2) 個人の尊厳や社会的存在に関する用語についての記述として最も適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a ポジティブ・アクションとは、生物的な性と異なり、「男らしさ」や「女らしさ」といった、社会や文化のなかで作られた性をさす。  
 b ダイバーシティとは、多様性、相違点のことであり、企業では、人種・国籍・性・年齢を問わずに人材を活用することをさす。  
 c ジェンダーとは、社会や地域コミュニティを支える人々の結びつきやネットワーク、信頼関係をさす。  
 d ソーシャルインクルージョンとは、実質的な平等を実現するための暫定的な積極的差別是正措置のことである。  
 e ソーシャル・キャピタルとは、障害者らを社会から隔離排除するのではなく、社会の中で共に助け合って生きていこうという考え方である。

(3) 源流思想に関する記述のうち、誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 老子は、素朴な農村共同体のような、必要最小限のものとわずかな人々からなる小国家（小国寡民）を理想とした。
- b 孔子は、ありのままの実在の世界は、是非・善悪・美醜・栄辱・生死などの対立・差別をこえた、本来斉しいものであると主張した。
- c ソクラテスの考える福德一致とは、魂のそなえるべき徳についての知識があれば、それに導かれて善く生きることができ、そこに真の幸福があるという考え方である。
- d プラトンは、統治者階級は国家をよく治めるための知恵を、防衛者階級は国家を守るための勇気を、生産者階級は勝手な欲望を抑えて国家に尽くすための節制を必要とすると考えた。
- e アリストテレスは、「人間はポリス的動物である」と述べて、人間は本来、他の人間とともにポリスのなかで生きる存在だと主張した。

(4) 功利主義に関する記述として誤っているものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a ベンサムは、快樂の量を、快苦の強さや持続性などの基準によって比較・計算すること（快樂計算）の重要性を主張した。
- b ベンサムは、快樂を最大化し苦痛を最小化することが幸福への道だとして、そのために役立つ行為が道徳的であると考えた。
- c ベンサムは、種々のサンクション（制裁）を「物理的」「政治的」「道徳的（大衆的）」「宗教的」の四種に分類し、それらのサンクションから行為が引き起こされると考えた。
- d ミルは、他者危害の原則を否定した上で、「フェア・プレイ」に基づく私益の追求でなければ公共の利益を促進することはできないと考えた。
- e ミルの『自由論』は、中村正直によって『自由之理』として訳出され、日本にも影響を与えた。

(5) 日本の思想に関する記述として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。 ト

- a 聖徳太子の思想の根本は、十七条憲法に述べられており、その中心は和の精神の実現である。また、仏教理解に基づく凡夫の自覚という人間観がうかがえる。
- b 日蓮は、『法華経』にこそ、釈迦仏のすべての教えが帰結しているとして、それにもとづく正しい仏教を樹立することによってこそ国家の安泰の達成（立正安国）が可能になると説いた。
- c 法然は、ひたすら「南無阿弥陀仏」をと念ふこと（専修念仏）によって、極楽浄土に往生することができると説いた。
- d 福沢諭吉は、『明六雑誌』に啓蒙的論陣を張り、『民間雑誌』『時事新報』などを創刊した。晩年には、官民調和や富国強兵論を説いた。
- e 本居宣長は、『万葉集』を研究し、そこに簡素で力強く素直な高く直き心をもった人間像を見出し、それを「ますらをぶり」とよんだ。

## 【選択問題 中学校】

第3問 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の「第2章 第2節 社会」について、次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「第2 各分野の目標及び内容」のうち、地理的分野、歴史的分野、公民的分野、それぞれの「目標(3)」である。文中の(Ⅰ)～(Ⅲ)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。なお、空欄のローマ数字が同じ箇所には同じ語句が入るものとする。

## 第2 各分野の目標及び内容

## 〔地理的分野〕

## 1 目標

(3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする(Ⅰ)を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して(Ⅱ)我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての(Ⅲ)などを深める。

## 〔歴史的分野〕

## 1 目標

(3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする(Ⅰ)を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して(Ⅱ)我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての(Ⅲ)などを深め、国際協調の精神を養う。

## 〔公民的分野〕

## 1 目標

(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする(Ⅰ)を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して(Ⅱ)、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての(Ⅲ)などを深める。

|   | Ⅰ  | Ⅱ                        | Ⅲ  |
|---|----|--------------------------|----|
| a | 資質 | 育成される                    | 自覚 |
| b | 資質 | 涵養 <small>かん</small> される | 理解 |
| c | 態度 | 育成される                    | 理解 |
| d | 態度 | 涵養 <small>かん</small> される | 自覚 |

- 2 次の文は、「第2 各分野の目標及び内容」のうち、地理的分野の「2 内容 C」及び「3 内容の取扱い」の一部である。文中の( I )～( IV )に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 イ

2 内容

C 日本の様々な地域

(3) 日本の諸地域

次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、( I )や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

① 自然環境を中核とした考察の仕方  
 ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方  
 ③ 産業を中核とした考察の仕方  
 ④ 交通や通信を中核とした考察の仕方  
 ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や( II )を理解すること。

3 内容の取扱い

(2) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

オ 地域的特色を追究する過程で生物や地学的な事象などを取り上げる際には、地域的特色を捉える上で( III )範囲にとどめること。

(5) 内容のCについては、次のとおり取り扱うものとする。

ウ (3)については、次のとおり取り扱うものとする。

(ウ) 地域の考察に当たっては、そこに暮らす人々の生活・文化、地域の伝統や歴史的な背景、地域の持続可能な社会づくりを踏まえた( IV )に留意すること。

|   | I         | II    | III | IV |
|---|-----------|-------|-----|----|
| a | 空間的相互依存作用 | 地域の役割 | 適切な | 視点 |
| b | 空間的相互依存作用 | 地域の課題 | 必要な | 視点 |
| c | 文化的相互依存作用 | 地域の役割 | 必要な | 方法 |
| d | 文化的相互依存作用 | 地域の課題 | 適切な | 方法 |

- 3 次の文は、「第2 各分野の目標及び内容」のうち、歴史的分野の「2 内容 A」及び「3 内容の取扱い」の一部である。文中の（ I ）～（ IV ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。 ウ

2 内容

A 歴史との対話

(1) 私たちと歴史

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 時期や年代、( I )、現在の私たちとの( II )などに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現すること。

3 内容の取扱い

(1) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

ウ 歴史に関わる事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、( III )を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学習内容の確かな理解と定着を図ること。

(2) 内容のAについては、次のとおり取り扱うものとする。

ア (1)については、中学校の歴史学習の導入として実施することを原則とすること。小学校での学習を踏まえ、扱う内容や活動を工夫すること。(中略) (1)のアの(ア)の「年代の表し方や時代区分」の学習については、導入における学習内容を基盤にし、内容のB以下の学習と関わらせて( IV )に進めること。

|   | I  | II   | III  | IV      |
|---|----|------|------|---------|
| a | 変容 | つながり | 学習活動 | 段階的・体系的 |
| b | 変容 | ちがひ  | 課題   | 継続的・計画的 |
| c | 推移 | つながり | 課題   | 継続的・計画的 |
| d | 推移 | ちがひ  | 学習活動 | 段階的・体系的 |

- 4 次の文は、「第2 各分野の目標及び内容」のうち、公的的分野の「2 内容 B」及び「3 内容の取扱い」の一部である。文中の( I )～( IV )に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 エ

|     |   |
|-----|---|
| 2   | 内容  |
| B   | 私たちと経済  |
| (2) | 国民の生活と政府の役割   |
|     | ( I ), 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。   |
|     | ア 次のような知識を身に付けること。  |
|     | (ア) 社会資本の整備, ( II ) など環境の保全, 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化, 消費者の保護について, それらの意義を理解すること。  |
| 3   | 内容の取扱い  |
| (1) | 内容の取扱いについては, 次の事項に配慮するものとする。  |
|     | ウ 分野全体を通して, 課題の解決に向けて習得した知識を活用して, 事実を基に多面的・多角的に考察, 構想したことを説明したり, 論拠を基に自分の意見を説明, ( III ) させたりすることにより, 思考力, 判断力, 表現力等を養うこと。 |
| (3) | 内容のBについては, 次のとおり取り扱うものとする。  |
|     | イ (2) については, 次のとおり取り扱うものとする。  |
|     | (イ) アの(ア)の「消費者の保護」については, 消費者の( IV )の支援なども含めた消費者行政を取り扱うこと。   |

|   | I     | II    | III | IV |
|---|-------|-------|-----|----|
| a | 自由と権利 | SDG s | 論述  | 生活 |
| b | 自由と権利 | 公害の防止 | 議論  | 自立 |
| c | 対立と合意 | SDG s | 議論  | 生活 |
| d | 対立と合意 | 公害の防止 | 論述  | 自立 |

- 5 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文中の（Ⅰ）～（Ⅲ）に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
- (3) 各分野の履修については、第1、第2学年を通じて地理的分野及び歴史的分野を（Ⅰ）学習させることを原則とし、第3学年において歴史的分野及び公民的分野を学習させること。各分野に相当する授業時数は、地理的分野115単位時間、歴史的分野135単位時間、公民的分野100単位時間とすること。これらの点に留意し、各学校で創意工夫して適切な指導計画を作成すること。
- 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。
- (3) 調査や諸資料から、社会的事象に関する様々な情報を（Ⅱ）収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける学習活動を重視するとともに、作業的で具体的な体験を伴う学習の充実を図るようにすること。
- (4) 社会的事象については、生徒の考えが深まるよう様々な見解を提示するよう配慮し、多様な見解のある事柄、未確定な事柄を取り上げる場合には、有益適切な教材に基づいて指導するとともに、特定の事柄を強調し過ぎたり、一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなどの偏った取扱いにより、生徒が多面的・多角的に考察したり、事実を（Ⅲ）捉え、公正に判断したりすることを妨げることをしないよう留意すること。

- |   | Ⅰ     | Ⅱ    | Ⅲ    |
|---|-------|------|------|
| a | 関連付けて | 効果的に | 統合的に |
| b | 関連付けて | 積極的に | 客観的に |
| c | 並行して  | 効果的に | 客観的に |
| d | 並行して  | 積極的に | 統合的に |



## 【選択問題 特別支援学校】

第3問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和3年6月に文部科学省より示された「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」の「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方」の一部である。文中の  ～  に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

合理的配慮は、「障害者の権利に関する条約」第2条の定義において提唱された概念であり、その定義に照らし、我が国の学校教育においては、中央教育審議会初等中等教育分科会報告において、合理的配慮とは、「障害のある子どもが、他の子どもと  に『教育を受ける権利』を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子供に対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に  に必要とされるもの」であり、「学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の  を課さないもの」と定義されている。なお、障害者の権利に関する条約において、合理的配慮の否定は、障害を理由とする  に含まれるとされていることに留意する必要がある。

- |                                |        |       |       |      |
|--------------------------------|--------|-------|-------|------|
| <input type="text" value="ア"/> | a 平等   | b 均等  | c 対等  | d 同等 |
| <input type="text" value="イ"/> | a 習熟度別 | b 学年別 | c 課題別 | d 個別 |
| <input type="text" value="ウ"/> | a 対応   | b 負担  | c 義務  | d 責任 |
| <input type="text" value="エ"/> | a 差別   | b 区別  | c 分離  | d 偏見 |

2 次の表は、令和3年10月に文部科学省より示された「特別支援教育資料（令和2年度）」の「第1部 データ編」の表の一部である。表中の  ・  に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

出典：「学校基本調査」（文部科学省）  
※中等教育学校の特別支援学級はなし。

a 病弱・身体虚弱    b 自閉症・情緒障害    c 知的障害    d 言語障害

3 文部科学省の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の公布について（通知）（平成28年12月9日）」にある平成30年4月1日より施行された「通級による指導」に関する内容に該当するものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 知的障害者を対象とする通級による指導の制度化
- b 情緒障害者を対象とする通級による指導の制度化
- c 幼稚園における通級による指導の制度化
- d 高等学校における通級による指導の制度化

- 4 平成29年4月告示の「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領 第7章 自立活動」に記載されている自立活動の内容について、次の(1)～(6)の区分に該当する項目を、それぞれ下のa～cから一つ選びなさい。

|             |   |               |   |
|-------------|---|---------------|---|
| (1) 健康の保持   | ク | (2) 心理的な安定    | ケ |
| (3) 人間関係の形成 | コ | (4) 環境の把握     | サ |
| (5) 身体の動き   | シ | (6) コミュニケーション | ス |

|   |  |
|---|--|
| ク | a 身体各部の状態の理解と養護に関すること。<br>b 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。<br>c 日常生活に必要な基本動作に関すること。 |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| ケ | a 状況の理解と変化への対応に関すること。<br>b 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。<br>c 自己の理解と行動の調整に関すること。 |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| コ | a 情緒の安定に関すること。<br>b 他者の意図や感情の理解に関すること。<br>c コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| サ | a 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。<br>b 身体の移動能力に関すること。<br>c 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| シ | a 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。<br>b 保有する感覚の活用に関すること。<br>c 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| ス | a 集団への参加の基礎に関すること。<br>b 言語の形成と活用に関すること。<br>c 健康状態の維持・改善に関すること。 |
|---|--|



